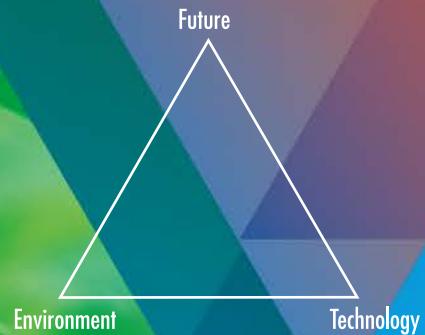




CSR報告書 2020

# CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY REPORT 2020



大成建設グループ  
大成口テック株式会社

*For a Lively World*

# 自然と社会と人に深くかかわる企業として、

大成ロテック株式会社は、社会とすべての利害関係者から信頼を得て、企業の社会的責任、持続的な成長を果たすことを追求し、法令の順守、業務の継続的改善を推進するためのマネジメントシステム方針をここに定める。

## 品質方針

創造力と知恵を結集して  
技術の研鑽に努め、社会と顧客から  
評価され、信頼される  
品質を確立する。

## 安全衛生方針

先取り型の  
安全衛生管理活動を実施して、  
労働災害、公衆災害、  
交通事故を撲滅し、  
健康で明るい職場環境を  
構築する。

# 人々のためにより良い環境を創造する。

## 環境方針

地球環境の保全を推進し、  
循環型社会の実現に寄与して、  
次世代のために  
美しい快適環境を創造する。

## CONTENTS

企業理念	1
会社概要	3
中期経営計画(2018~2020年度)	3
営業所ネットワーク	4
社長メッセージ	5
特集 東京国際空港東側整備地区 エプロン他舗装改良工事	7
大成口テックの技術紹介	9
製品事業本部の新たな取り組み	12
マネジメント報告	13
社会貢献活動	15
職場環境の整備	17
労働安全衛生管理体制	19
環境活動報告	21
2019年度の工事実績	22

### 編集方針

本報告書は、大成口テック株式会社が社会に果たす役割とさまざまな取り組みを皆様にお伝えし、当社の活動に対する理解を深めていただくことを目的に発行しています。

### 対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日

\*一部期日を明記した上で当該期間以外の内容も記載しております。

### お問い合わせ先

大成口テック株式会社 経営企画部

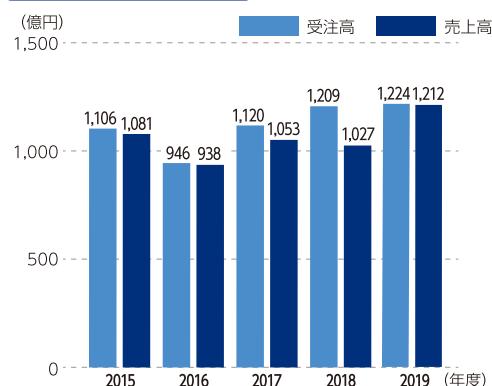
東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー  
TEL 03-5925-9435 FAX 03-3362-5804

TAISEI ROTEC

## 会社概要

商	号 大成ロテック株式会社(英文名 TAISEI ROTEC CORPORATION)
本	社 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
設	立 1961年6月15日(昭和36年)
資	本 金 113億5百万円
建	設 業 許 可 国土交通大臣許可(特-29)第1964号・(特-30)第1964号
建	築 士 事 務 所 登 録 1級建築士事務所(東京都知事登録第21111号)
建	設 コンサルタント登録 国土交通大臣登録 建01第130号
宅	地 建 物 取 引 業 者 東京都知事(12)第33255号
從	業 員 数 1237名(2020年3月31日現在)
營	業 種 目
1	次に掲げる工事の設計、施工、監理 およびコンサルティング (1)道路工事 (2)舗装工事 (3)防水工事 (4)管工事 (5)造園工事 (6)その他の土木工事 (7)その他道路に関する工事 (8)建築工事
2	建設用資材の製造および販売
3	建設機械器具の設計、製作、販売、修理および賃貸
4	道路、空港、上下水道その他公共施設等の 企画、建設、保有、維持管理及び運営
5	スポーツ施設、飲食店等の商業施設、医療介護施設等の 経営および賃貸
6	産業廃棄物の処理ならびにその再生品の製造および販売
7	不動産取引および不動産管理に関する事業
8	発電およびエネルギー供給事業
9	前各号に付帯関連する一切の事業

### 受注高および売上高



### 経常利益



TAISEI ROTEC

## 中期経営計画(2018~2020年度)

当社はコンプライアンス遵守を基本とする経営方針のもと、高収益体质への転換に取り組み、今後の持続的成長を実現し、業界内での確固たる地位を確立するため、中期経営計画(2018~2020年度)を策定しています。

### 基本方針

### Sustainability

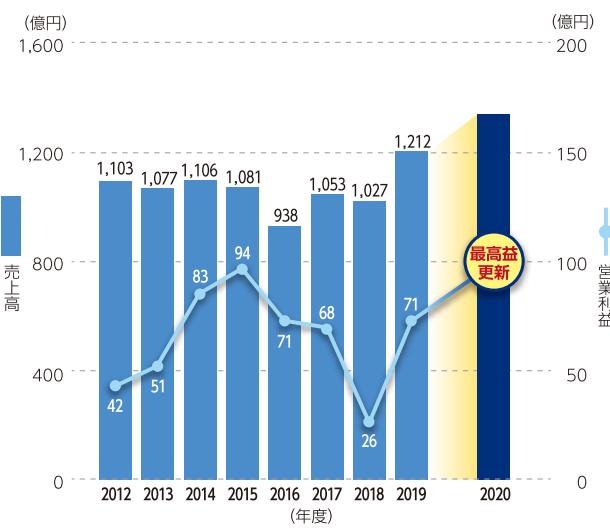
持続的成長を実現していくために  
私たちは未来に向けて挑戦します

コンプライアンス遵守を全ての事業活動の前提とし、  
以下を基本方針とします。

- 1 さらなる収益力の向上
- 2 新たな事業分野への挑戦
- 3 死亡災害の撲滅及び品質・環境トラブルの防止
- 4 働き方改革・生産性革命の推進
- 5 グループ連携強化

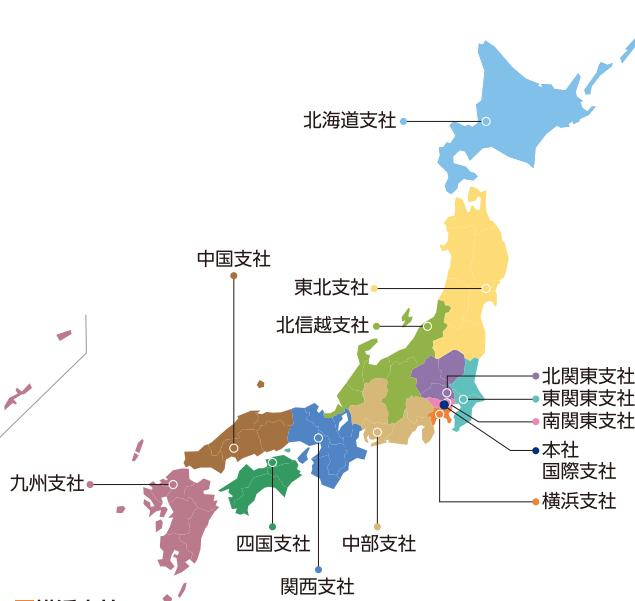
### 経営数値目標

当社の過去最高益(2015年度営業利益)の更新を目指します。



## 営業所ネットワーク

本社を中心に支社、営業所、合材工場など、日本全国に200ヶ所以上の拠点を設置。各種工事の施工、アスファルト合材の製造・販売など、万全の事業ネットワークで豊かな社会づくりに貢献します。



### ■本社

技術研究所/機械技術センター/鴻巣研修センター

### ■北海道支社

道北エリア	道北営業所/遠別営業所/道東営業所/弟子屈営業所/道北工事事務所/道東工事事務所/大雪アスコン/遠別合材工場/丹頂アスコン/弟子屈合材工場
道央エリア	道央営業所/ニセコ俱知安営業所/道央工事事務所/札幌中央アスコン
道南エリア	道南営業所/室蘭営業所/日苦営業所/門別営業所/道南工事事務所/日苦工事事務所/函館アスコン/イブリアスコン/洞爺アスコン/苦東アスコン/門別合材工場

### ■東北支社

北東北エリア	岩手営業所/釜石営業所/久慈営業所/青森営業所/三沢営業所/秋田営業所/岩手工事事務所/久慈工事事務所/青森工事事務所/秋田工事事務所/岩手中央アスコン/久慈中央アスコン/秋田アスコン
宮城エリア	宮城営業所/山形営業所/宮城工事事務所/山形工事事務所/仙台東アスコン/山形合材工場
福島エリア	福島営業所/福島北営業所/いわき営業所/相馬営業所/福島工事事務所/福島北工事事務所/いわき工事事務所/相馬工事事務所/福島県中央アスコン/若松アスコン/福島・県北アスコン/いわきアスコン/相馬アスコン

### ■東関東支社

千葉エリア	千葉営業所/成田営業所/千葉工事事務所/成田工事事務所/房総合材工場/成田アスコン
船橋エリア	船橋営業所/柏営業所/船橋工事事務所/柏工事事務所/トーセキアスコン
茨城エリア	茨城営業所/鹿島営業所/ひたちなか営業所/茨城工事事務所/鹿島工事事務所/ひたちなか工事事務所/石岡合材工場

### ■北関東支社

さいたまエリア	さいたま営業所/さいたま工事事務所/北首都舗装工事事務所/浦和アスコン/鴻巣上谷環境センター
川越エリア	川越営業所/花園営業所/川越工事事務所/花園工事事務所/花園合材工場
北関東エリア	群馬営業所/栃木営業所/群馬工事事務所/栃木工事事務所/栃木アスコン

### ■南関東支社

東京エリア	東京営業所/京浜営業所/川崎営業所/東京工事事務所/京浜工事事務所/東京青海合材工場/城南島リサイクルセンター/首都圏資材センター
多摩エリア	多摩営業所/多摩工事事務所

### ■国際支社



社長メッセージ

## 持続的成長を実現していくために、

代表取締役社長 西田義則

Susta

### 私たちを取り巻く環境および課題

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、社会・経済活動への影響の長期化が懸念されています。また、日本各地で自然災害が発生しており、人々の生活へ深刻な影響を及ぼしています。

このような状況の中、民間設備投資の減少が予想されますが、防災・減災、国土強靭化施策による公共建設投資は底堅く推移し、一定の水準は維持されると見込まれます。一方で、建設投資の内容としては、インフラの新設から維持修繕へとシフトが進み、PFI・コンセッション事業が拡大していくなど、市場環境は緩やかではありますが刻々と変化しています。

また、少子高齢化社会が進む我が国において、担い手を確保し生産体制を維持していくことはまさに喫緊の課題となっており、国・業界を挙げて「働き方改革」と「生産性向上」への取り組みが行われています。

### 中期経営計画(2018-2020年度)の目標達成に向けて

持続的成長を目指した中期経営計画(2018-2020年度)の最終年度となる2020年度においても、コンプライアンスを全ての事業活動の前提として以下の取り組みを推進し、社会から必要とされ続ける企業を目指してまいります。

#### 取り組み

- ①景観性・耐久性の高い石張舗装の「インジェクト工法」、アスファルト舗装の長寿命化を実現する「リラクスファルトHT舗装」、ヒートアイランド対策となる「保水性舗装」など当社の強みを生かした「さらなる収益力の向上」
- ②維持修繕事業や建築事業、海外事業、再生エネルギー事業等の「新たな事業分野への取組みの強化」
- ③IT技術の活用や人事諸施策などによる「働き方改革・生産性革命」
- ④担い手を確保し生産体制の維持に向けた「人材の獲得及び育成強化」

# 私たちは未来に向けて挑戦します

sustainability



- ⑤ものづくりを行う企業の責務として「安全・環境・品質トラブルの撲滅」
- ⑥大成建設グループ、大成ロテックグループとの「グループ連携強化」

## 「自然」と「社会」と「人」に 深くかかわる企業として

近年、自然災害の発生が続き被害が甚大化している中、当社は企業の社会的責任を果たすことを念頭に事業活動を継続してまいります。そして、これからも道路建設を中心とした社会基盤の整備にかかわりながら、企業理念である「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造すること」を実現してまいります。

## 働き方改革と生産性革命

当社は、将来の担い手確保を重点課題の一つと位置付けており、全社一丸の取り組みとして、2020年度より、新入社員には配属先の繁忙度・状況に拘わらず、土・日休暇100%完全取得を保証しています。

長時間労働の削減、休日取得に対する意識改善を行い、就業時間選択制、変形労働時間や時間有休制度など、多様性のある働き方の取り組みによって、魅力ある職場づくりを推進していきます。

また、働き方改革を進めるには、生産性の向上が必須となることから、ICT導入の推進、自動化・無人化等の工法・機械の開発、業務効率化のためのシステムの導入を進めるほか、年間工事消化量の偏りの平準化、安全・品質トラブル防止、業務改善の推進などの取り組みも併せて推進していきます。

## 当社の未来

建設市場は一定の規模を維持していくものと見ていますが、当社はその先の未来を見据え、時代や環境の変化に対応していき、持続的成長を実現していくための経営基盤を強化していきます。

当社は、2021年に創立60周年を迎えます。大成建設グループの中核を担う企業として、これからも社会に必要とされるために、道路業界における「名実ともにNo.1」を目指し挑戦していきます。

## 東京国際空港東側整備地区エプロン他舗装改良工事

# 東京国際空港で高強度PRC版

東京国際空港東側整備地区エプロン他舗装改良工事(発注者:関東地方整備局 東京空港整備事務所)は、訪日外国人の増加に向けた東京国際空港(羽田空港)の国際線増便に対応するため、誘導路の一部をエプロン(駐機場)に整備する工事です。

離発着回数が多い東京国際空港において、施工箇所を日々供用しながら、限られた工期内で完成させたことにより、発注者から高い評価を受けました。



**A** プレキャスト版仮据付け



**B** 高さ調整・コッター継手仮締め



**C** 裏込グラウト注入



**D** 目地グラウト充填



**E** コッター継手トルク導入



1日目

撤去工  
(舗装版取壊し)

水平コアボーリング

**A** プレキャスト版  
仮据付け

2日目

**B** 高さ調整・  
コッター継手仮締め

**C** 裏込グラウト注入  
(20N/mm<sup>2</sup>)

**D** 目地グラウト充填  
(60N/mm<sup>2</sup>)

3日目

注入目地

南関東支社

# 舗装を施工



## 【高強度PRC版とは】

高強度PRC版とは高強度P(プレキャスト)RC(鉄筋コンクリート)舗装版の略称で長寿命・高耐久・高品質のプレキャスト製(工場生産したコンクリート部材)舗装版です。空港やコンテナヤードのように交通荷重が特に大きい場合や軟弱地盤上に適し、工期短縮やライフサイクルコストの低減にも大きく貢献します。



## 現場の声



監理技術者 二本柳 知孝

深夜0時から早朝5時30分までという短い時間の中で舗装版撤去からPRC版据付までを行い、6時までに誘導路を使用できる状態にしなければならないという厳しい条件の現場でした。施工中は、タイムスケジュールの管理と120tクレーンでの吊り作業のための安全管理が必要になります。他の作業と混在しないよう調整を行い、無事故で完成させることができました。



現場代理人 宮本 雄大

エプロンを増設するためのPRC版(標準2.5m×7.5m、最大重量15.3t)を当初240枚、追加165枚を日々開放で施工しました。1面を駐機場残り3面を誘導路に囲まれた現場条件の中、職員及び協力業者で一致団結し、無事に工期内に引き渡すことができました。

E コッター継手  
トルク導入

コッター継手  
蓋取付

跡埋工

# Technology /

大成ロテックの技術紹介

卓越した技術力とノウハウで  
社会への価値創造を追求します。

循環型社会  
の構築

快適なくらし

安全・安心な  
インフラ構築

災害時の対応

Value creation

地球環境保全

維持・修繕

大成ロテックは、これまで培ってきた技術力とノウハウを背景に、環境技術として、路面騒音の抑制、ヒートアイランド対策、維持・修繕、景観舗装など、目的別に多彩な新技術・工法を次々に開発してきました。

路面騒音の抑制

## 排水性・透水性舗装「ポーラススペーブ」

連続した空隙を有するポーラスアスファルト混合物が、タイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制する舗装。

## PRMS多機能工法

排水性舗装の表面の空隙部に弾性レジンモルタルを充填する工法。弾性モルタルがタイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制します。

## MAP工法

2種類のアスファルト混合物を同時に敷きならすことができる“マルチアスファルト・ペーバー”を使用して舗装を構築する工法。上層に小粒径のポーラスアスファルト混合物、下層に通常のポーラスアスファルト混合物を同時に敷きならすことで、高い騒音低減効果を有する“2層式低騒音舗装”を構築できます。

## 骨材露出工法

コンクリート舗装の表面の骨材を露出させ、すべり抵抗性を改善する工法。舗装表面の凹部がタイヤと路面の接触時に発生する騒音を抑制します。

## リラクスファルトHT舗装

変形追従性(たわみ性)や応力緩和性、塑性変形抵抗性を改良した特殊改質アスファルト混合物。リフレクションクラックの発生を抑制し、維持管理におけるコストダウンを図ることができます。



## ワンダーコーティングシステム

構造物の延命を目的に開発された高性能塗装システム。コンクリート構造物への雨水等の浸透による劣化の防止、外観の長期維持、および汚れを簡単に除去できる機能を持つガラスコーティング技術です。

(詳細は11p)

ヒートアイランド対策

## 保水性舗装「クールロード」

ポーラスアスファルト舗装の空隙に充填した特殊なセメントグラウトが水を蓄え、その蓄えられた水が蒸発する際に路面温度を下げる舗装。

## 遮熱性舗装「クールウェイ」

太陽光のうち、物体の温度を上げる“近赤外線”を効率良く反射する特殊な塗料“遮熱性塗料”を舗装の表面に塗布した舗装。遮熱性塗料の効果により路面の温度を低下させます。

## 研究開発の拠点 横須賀技術研究所

社会からの要請に応え、  
最適なソリューションをご提案します。

技術研究所では、簡便で精度に優れる道路構造物の点検調査技術や効率的な維持修繕技術、耐久性を高める長寿命化技術など、未来を見据えた舗装技術の開発を通して、より良い環境の創造や安心・安全な社会の提供に貢献するため、所員一丸となって活動しています。



## 快適な歩行空間の創造

### ウッドファイバー舗装

間伐材を再利用し、クッション性が高く自然に調和する舗装。

### ソフトウォーク

リサイクルゴムチップを用いた舗装。透水性と適度なクッション性を有し、歩行路やジョギングコースの舗装に適しています。



### シルバーウォーク80

「転倒しても比較的安全な硬さ」、「歩きやすい硬さ」、「車椅子が走行しやすい硬さ」を追求した透水性の歩道用のゴム弾性舗装。

## 常温合材

### TRミックスアクア

全天候型高耐久常温アスファルト混合物。水で固まるアスファルト常温合材で、軽交通から交通量の多い道路の補修にも使用できます。敷きならし後に散水することで硬化反応が開始し、およそ30分後には交通開放が可能です。



## 景観舗装

### インジェクト工法

大型車の走行にも対応する耐久性抜群の自然石を用いた石張り舗装工法。



詳細は11p

### TNC自然色舗装

天然の骨材が持つ自然な色彩をそのままに、さまざまな情景にマッチする自然色舗装。

## エクセレントソイル

土本来の自然な風合いとともに、適度な弾力性、衝撃吸収性を備えた歩道用の土系舗装。

## 防 災

### 地下貯留工法

公園や駐車場などの地下に貯留槽を構築する工法。都市部のゲリラ豪雨など、短い時間で降った大量の雨を一時的に貯留することで、道路等の冠水の発生を抑制します。

### スーパーフレックスファルト

アスファルト表面遮水壁に使用する、たわみ性に優れた耐震性の高い特殊なアスファルト混合物。地震時の急激な堤体の変形にも追従し、アスファルト遮水壁表面のひび割れの発生を抑制します。

## Pick up

大成ロテックの技術は、さまざまな場所や目的に活用されています。

### Pickup 1

### インジェクト工法

#### 大型車の走行にも耐久性抜群の石張り舗装を実現。

景観性が高く、高級感のある石張り舗装は、観光地や参道などでよく適用されていますが、大型バスが走行するような路線では早期に石の破損やガタツキが発生していました。

そこで当社は従来の石張りから「すえつけ材料」「施工方法」を改良し、大型車への耐久性のある自然石舗装を実現しました。

インジェクト工法は大型車が走行しても破損しない、耐久性抜群の自然石舗装の構築工法であり、歩車道一体の石畳の景観舗装を可能とします。最初の施工場所は定期バスや大型観光バスが走行する路線で、供用開始から20年を超えたが、良好な供用性を維持しています。

インジェクト工法は28万m<sup>2</sup>以上、950件以上の施工実績があります。

#### 特長

- 大型車両が走行しても破壊しない石張り舗装が構築できます。
- インジェクト層の強度は従来工法(空練りモルタル層)に比べてバラツキが少なく、均一な据え付けができます。
- 不整形の天然石ブロックでも据え付けが容易です。
- インジェクト工法は即日開放が可能です。

JR東京駅丸の内駅前広場(東京都)



ビーコンプラザ前(大分県)



### Pickup 2

### ワンダーコーティングシステム <ガラスコートシリーズ>

#### 塗るだけでガラス質膜を形成。 構造物のライフサイクルコストを低減。

ワンダーコーティングシステム<ガラスコートシリーズ>は構造物の延命を目的に開発された高性能塗装システムです。常温での塗装が可能で、乾けばガラス質膜が形成されます。

#### 特長

- 長期間維持機能  
ガラス質膜が構造物表面を風雨や紫外線から守ります。
- 汚れ防止機能  
トンネル内壁やコンクリート打ち放し壁面などを、排気ガスや降雨による汚れを付きにくくし、また汚れても落としやすくなります。
- 環境美化機能  
ラッカーやシンナーが乗りにくく、張り紙も接着しにくいので、落書きや張り紙を簡単に除去でき、抑止効果も期待できます。

施工前



施工後



Pickup  
3

## HoloLensとCIMモデルを活用した見える化技術

### HoloLensを用いた既設地下埋設管の見える化。

電線共同溝工事において、既存の地下埋設物を非破壊で探し、そのデータをMicrosoft HoloLensに取り込み地下埋設物を可視化します。その状態で施工することで、既設埋設管の破損防止と施工効率の向上を図ります。



マイクロソフト社製ホロレンズ および  
MRソリューション「GyroEye Holo」



### 製品事業本部の新たな取り組み

2020年4月より製品事業本部は、アスファルト合材製造販売や建設廃材の中間処理業、その他製品販売を統括する部署としてスタートしました。

#### 持続可能な循環型社会の実現に向けて

新たに受入れ品目として取得した生コン(残コン)を再生砕石RC40-0に処理、路盤材として製品化。製品事業本部では、循環型社会の一翼を担うべく、これからもより多種の建設廃材を受け入れ、再生材を製造する中間処理業を行っていきます。循環型社会のさらなる拡充を目指し、これからも持続的成長を図ります。



団粒化装置

#### 道路補修材の開発

#### 『TRミックス アクア』の開発と製造・販売網の充実

従来の常温合材の性能及び保存性を改良した『TRミックス アクア』を開発。日本全国において、製造・販売網を拡充していきます。道路の補修材提供を通して、人々の生活を支える道路をより快適に保ちます。

全国の工場において  
積極的な設備投資により、  
より効率的に製品を製造するとともに、  
環境負荷を低減します。



岸和田合材工場／大規模改修

# Management

マネジメント報告

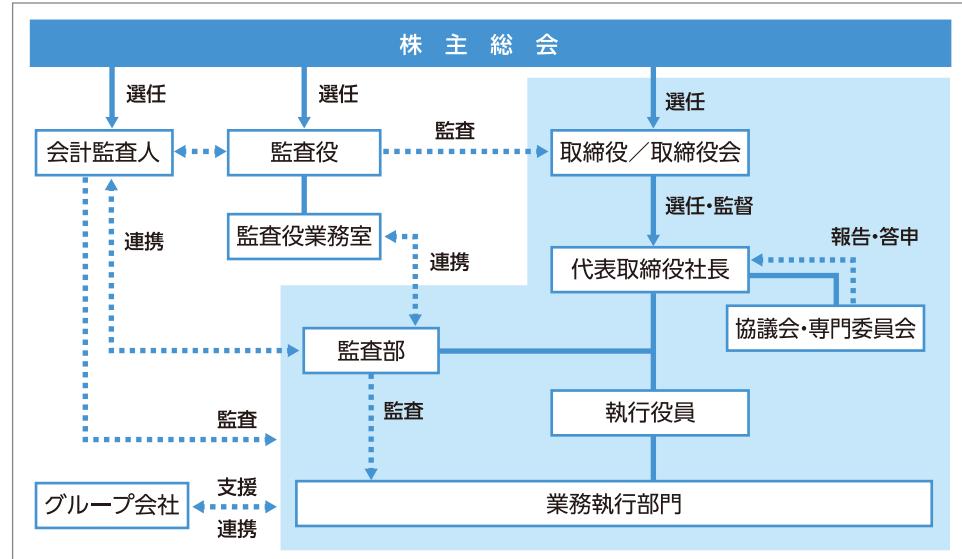
お客さまに、社会に、信頼される企業であるために。

## 企業統治

大成ロテックでは、経営の効率性・透明性・健全性を高めるためにコーポレートガバナンス体制の充実・強化を図り、企業価値を向上させることを目指しています。

取締役会(社外取締役を含む)は、経営上の重要事項の決定と業務執行の監督を行っています。監査役は、取締役会などの重要な会議への出席を通じて取締役の職務執行の適正性、健全性について監査を実施しています。また、執行役員制度を導入し業務執行の効率化・迅速化を図っています。

### ■コーポレートガバナンス体制図



## コンプライアンスの推進

大成ロテックでは、「大成ロテック企業行動規範」を基本にコンプライアンスを推進し、社会から信頼される企業となるため、法令等の遵守や公正な取引の確保等を図っています。

また、今年度は昨年度に引き続き、「法務コンプライアンス部」および「監査部」を中心に、一連の独占禁止法違反事件を受けて策定した再発防止策に関するフォローを重点的に行い、関係各部門と連携することにより、再発防止策のさらなる徹底を図っています。



コンプライアンス研修の様子

### 具体的な取り組み

- 従業員一人ひとりに対してコンプライアンスを徹底させるために、毎年、全国の工事事務所・合材工場等においてコンプライアンス研修を開催しています。研修テーマとして、独占禁止法及び建設業法遵守の再徹底や事例説明に加え、注意すべき事案の水平展開などを行うなど、具体的な問題を取り上げ、全社的なコンプライアンスの強化に努めています。
- 2018年4月から、全社員に対して「コンプライアンス通信」を発行しております。建設業法・ハラスマント・環境問題・労働関連など、毎回テーマを変え、月に1回を目途に配信し、コンプライアンス遵守意識の向上に努めるとともに、日常業務におけるコンプライアンス資料としての活用も図っています。
- 営業活動におけるコンプライアンス遵守状況の確認のため、社内規程「独占禁止法遵守のための行動指針」「入札業務の適正確認手続きに関する細則」にのっとり、毎年入札業務の監査を行っています。



## 情報セキュリティ対策

情報化社会は私たちの生活を便利にし、多種多様な利益をもたらしています。しかし利便性を得た反面、サイバー攻撃やインターネットにおけるトラブルなど大きな危険性を抱えています。これらの脅威から会社の情報資産を守るために、情報部門の情報セキュリティレベルの向上、社員が遵守すべきことを定めた「情報セキュリティ管理規定」など、さまざまな情報セキュリティ対策を講じています。

個人によるTwitter、Facebookなどの情報発信メディアによるトラブルを防止する行動指針として「ソーシャルメディア利用ガイドライン」を制定しています。

## マネジメントシステム

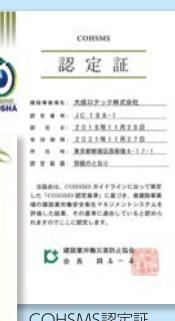
当社は現在3つのマネジメントシステムを社内で運用しています。実態が外から見えにくい品質管理システム、環境管理システムについては国際規格であるISO9001とISO14001に基づく外部の認証登録を受け、2017年に2015年版の移行審査を経て、移行が完了しています。第三者機関から定期的にその運用状況について審査を受け、日々業務の継続的改善に努め、当社の持続的な成長に繋げています。また、社外からその活動が見えやすい労働安全衛生管理システムについては2017年度までは自己宣言方式を採用して運用していましたが、2018年度にCOHSSMSに基づく外部の認証登録を受けました。



ISO9001登録証



ISO14001登録証



COHSSMS認定証

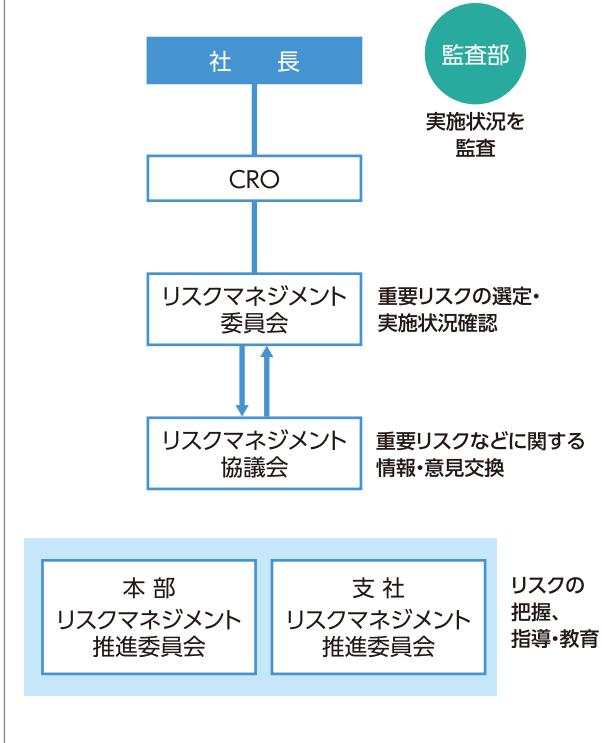
## リスクマネジメント

会社の社会的信用を損なわせる可能性のある事象、会社に人的、物的もしくは経済的損失を発生させる可能性のある事象をリスクと定義し、各本部・支社において抽出されたリスクの中から、特に影響度や発生の可能性・頻度が高いリスクについては「全社重要リスク」として管理・周知を図り、適宜必要に応じて見直しを実施しています。各部門ではそのリスクについて日常的にモニタリングし、リスクコントロールがなされているかをチェックしており、また、監査部はリスクマネジメントの実施状況に関する監査を実施しています。それらを継続的に実施することにより、リスク発生の予防、リスク発生による損失の最小化、再発の防止およびリスク対策の評価と改善を行い、大成建設グループの一員として企業の社会的責任を果たしてまいります。

### ■リスクマネジメント実施体制

平常時 リスクの事前対策

リスク発生時 損失の最小化および損失の拡大防止



# Responsibility

より快適な地域社会のために **社会貢献活動**

大成ロテックは、地域社会の一員として  
教育・医療など地域に密着したさまざまな活動に  
積極的に取り組んでいます。



本社

東京都へ  
医療用マスク5万枚を寄贈



新型コロナウイルス感染症治療にあたる医療従事者の感染防止対策を支援するため、医療用マスク5万枚を東京都に寄贈しました。  
(2020年5月)



技術研究所・機械技術センター  
地元小学校の学区探検



地元小学校が3年生を対象に行っている総合学習「学区探検」の一環として、毎年児童を受け入れ体験学習を実施しています。排水性舗装にじょうろで水を撒いた時の浸透状況や、職員と共に重機の運転席に座り施工機械の大きさを体感してもらいました。



北海道支社

グラウンドの安全・快適な使用へ



室蘭市内の聾学校において、生徒の皆さんに安全に気持ちよく使用してほしいとの想いから、運動会の実施に合わせてグラウンドの転圧作業を行いました。



東北支社

「アレマキャンペーン」へ参加



仙台合材工場では、仙台市の清掃活動である「アレマキャンペーン」に毎年参加しており、工場周辺の市道の清掃を行っています。



#### 北関東支社

### むつみの里「むつみ祭」 出店活動協力



浦和木材工場の近隣施設である大崎むつみの里の文化行事「むつみ祭」に、地域交流の一環として昨年に引き続き参加しました。今年は焼きそば・唐揚げ・綿あめ等の販売を行い、どのブースも行列ができるほどの人気となりました。最後には、園長をはじめ施設職員の方々より感謝のお言葉をいただきました。



#### 南関東支社

### 「空気入れ」の設置



東京営業所では、近隣の方が使用できるよう営業所前に「空気入れ」を設置しています。車いすや自転車に乗られている方に多く利用していただいており、皆さんに安心して利用していただけるよう、年に数回空気入れのメンテナンスを行っています。



#### 関西支社

### ボランティア・サポート・ プログラム



福知山合材工場では、2012年に国土交通省とボランティア・サポート・プログラム協定を結び、協力会社と共同で月に一度、国道9号線の美化清掃活動を実施しています。道路の清掃活動を通じて、快適な道づくりのサポートをしています。



#### 九州支社

### 花のあるまちづくりに参加



九州支社では、「一人一花運動」に参画しています。市民や企業・行政が力を合わせ、花と緑を育てることで、まちが彩りや潤いにあふれ、誰もが福岡に親しみや愛着を持ち、豊かな心が育まれるよう「一人一花!」「一企業一花壇!」を合言葉に福岡市が取り組んでいるもので、九州支社のビル前の花壇に花苗の植え替えを行いました。

# Responsibility

より快適な職場環境のために 職場環境の整備

働きやすい環境、仕事と生活の充実、  
そして能力を十分に発揮できる職場作りをめざします。

## 人権の尊重

「大成ロテック企業行動規範」で基本的人権の尊重を掲げ、社長を委員長とした人権啓発協議会を設置して、差別のない社会の実現とハラスメントのない良好な職場環境づくりを推進しています。また、人権啓発研修会の実施はもとより、各社内研修のカリキュラムにも人権研修を組み入れ、さらにイントラネット上での「人権啓発のしおり」の掲載や、各事業場でのハラスメントに関する相談員の配置など、従業員に対し人権に対する意識の向上を図っています。

### 人権啓発協議会

#### 〈目的〉

- 1 同和問題をはじめ、社会に存在する様々な差別事象を正しく認識する。
- 2 不合理や差別を無くすよう努力する社員の行動を促進する。
- 3 人権尊重の目的を達成する為の啓発活動を行う。

#### 〈活動方針〉

- 1 『人権は本来持っている権利であり、全ての人が等しく幸せな生活を営むための基本的な権利』であることを正しく認識し、より良い人格形成を目指す社員の成長を支援する。
- 2 同和問題、障がい者、エイズ、セクハラ等の差別の実態を正確に理解し、集合研修や職場等で人権意識の高い従業員の育成をはかる。

## 労使関係

当社社員組合とユニオンショップ協定を結んでおり、管理職などを除くすべての正社員が組合員となっています。労使関係や会社の事業活動の円滑化を目的に毎年労使間でアンケート調査やさまざまな対話を実施しています。労働条件の変更などは労使で協議する事項としてあらかじめ労使間で決定しています。

## 働き方改革の推進

社内に「労働時間に関する協議会」及び「ワーキンググループ」を設置し、様々な施策の立案・効果の分析を行っています。また、様々なツールを活用し社員と共に意識改革に取り組むことで、更なる効率化を図り、労働時間の短縮、休日・休暇の取得率向上など今まで以上に社員が働きやすい環境づくりを行っています。

### ■PCシャットダウンシステム

社員組合が掲げる「早く帰ろうデー(毎週水曜日)」に合わせ、PCシャットダウンシステムを週1回稼働していましたが、2018年11月より毎日稼働させるとともに、出退勤システムと連動させ、正確な勤怠報告ができるしくみとしています。

## ■具体的活用ツール

休日予定等の見える化を実施し、休みやすい環境づくりを行っています。

◎休日休暇取得計画表

◎働き方改革コミュニケーションボード

## ■ライフスタイル、業務に合わせた就業時間の変更

子どもを保育園等に預ける時間、公共交通機関のダイヤに合わせるなどの、ライフスタイルに合わせて就業時間を変更できる制度(現在3パターン)を導入しております。また、就業時間の繰り上げ下げ(出社時間から8時間勤務)も実施しています。

さらに、特定部門では変形労働時間制を導入しており、繁忙期と閑散期でメリハリをつけた終業時間の設定を行っています。GW、夏期、年末年始には特別休日のほか計画年休や休暇取得推進日を設けるなどして、7~10日程度の連続休暇となるように設定しています。

## ■リフレッシュ休暇・特別慰労休暇

勤続15年を迎えた社員にはリフレッシュ休暇として連続7日の休暇を、勤続25年を迎えた社員には特別慰労休暇として連続7日の休暇および旅行券を付与し、長年の勤務に対し慰労するとともに、心身ともにリフレッシュしさらなる活躍の契機となる制度を設けています。

## ■若手社員の働き方改革加速施策

新入社員は繁忙度にかかわらず、土日休日を100%取得できます。

入社2年目の社員は、土日休日に限定しないものの、振替休日制度、代休制度、交代で休日取得が見込める現場への配属など、各種対応を実施することで、4週8休を実現します。

### ■有給休暇平均取得日数 8.1日 (2019年度)

## ダイバーシティの推進

### ■ダイバーシティ推進室を設置

2018年度よりダイバーシティ推進室が設置されています。女性、外国人、障がい者などの「多様性のある人材活用」や、就業時間の選択制などの「多様性のある働き方」の推進を行い、多様な人材が活躍できる働きやすい会社への変革を目指していきます。

### ■仕事と子育ての両立

社員が能力を十分に発揮できるように次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定や、出産・育児や介護にかかる休業・休暇制度の整備を行っています。2019年度には、男性社員も取得しやすいように配偶者出産休暇2日間と育児休業5日間の有給化制度を整備しました。

## ■育児休暇取得者数

(2019年度)

男性 9名取得(対象22名)

女性 4名取得(対象4名)

## ■障がい者雇用率の改善

障がい者雇用を積極的に推進し、法定雇用率(2.2%)の達成を実現しています。

(2019年度)  
2.35%

## ■外国籍従業員の採用

当社では、外国籍の社員も活躍しています。今後も積極的に採用を行い、多様な人材の活躍を推進していきます。

2019年度実績 10名 ミャンマー国籍8名、韓国籍2名

2020年度実績 8名 ミャンマー国籍1名、ベトナム国籍5名、中国国籍1名、カナダ国籍1名

2021年度予定 3名 ミャンマー国籍2名、ベトナム国籍1名

## 人材啓発活動

新入社員研修に始まり、階層別研修や各種専門研修、資格試験対策研修を体系的に実施し、OJT教育、通信教育制度などと合わせて、従業員の成長をバックアップしています。



【研修の一例】情報化施工(ICT)研修



鴻巣研修センター

## ■スキルアップ研修・部門別専門研修

1年次～

- ◎新入社員研修
- ◎新入社員フォローアップ研修
- ◎基礎技術(2年次)研修
- ◎初級品質管理担当者研修
- ◎営業基礎研修
- ◎機械担当者(初級)

3年次～

- ◎技術(3年次)研修
- ◎上級品質管理担当者研修
- ◎情報化施工(ICT)研修
- ◎工事担当者(6年次)研修
- ◎エンジニアリングレベルアップ研修
- ◎原価管理研修

30代～

- ◎新任係長研修
- ◎国際研修
- ◎現場代理人研修
- ◎工事担当者(上級)研修
- ◎PFI事業担当者研修
- ◎法務研修

40代～

- ◎新任課長格・プレゼン研修
- ◎新任営業所長研修
- ◎新任工事事務所長研修
- ◎新任工場長研修
- ◎マネジメント研修
- ◎部長格研修

※掲載の研修は一例であり、ほかにも多数の研修を実施しています。

## ■資格取得支援

全社員を対象として業務上必要となる資格・免許などの取得について、受験対策研修の実施や受験費用などを支援し、各分野におけるスキルアップを図っています。

### 資格一例

- ◎1級土木施工管理技士
- ◎1級舗装施工管理技術者
- ◎1級建設機械施工技士
- ◎1級建築士
- ◎舗装工事監査士
- ◎技術士
- ◎監理技術者資格
- ◎監理技術者講習
- ◎測量士
- ◎コンクリート主任技士
- ◎1級建設業経理士
- ◎宅地建物取引士
- ◎エネルギー管理者
- ◎衛生管理者
- ◎博士号
- など

## ■若手社員に対する教育・指導

入社1～2年目の社員と年齢の近い社員を指導員に任命し、月に1度、生活指導や社会人としてのマナーを教育すると共に、仕事上不安に感じていることなどを共有しコミュニケーションを図っています。

## ■社長・本部長表彰

多大な功績を挙げ、社業の発展・向上に寄与した個人や団体を表彰し、業務改善・創意工夫などの意欲向上を図っています。

社長・本部長表彰式  
大成ロテック株式会社



## ■テクノフォーラム2019開催

7月17日、鴻巣研修センターで「テクノフォーラム2019」が開催されました。第1回となる1992年より、当社の高い技術力を全社的に共有することを目的に隔年で開催されていましたが、2013年度から社員のプレゼン能力向上を目指し、毎年の開催となりました。発表は「東北支社『ICTチーム』の活動報告」など16編で、事前に提出された論文と当日の発表内容によって審査が行われました。発表者と参加者による活発な意見交換があり、社員の創意工夫や技術提案を知る最良の機会となりました。



テクノフォーラム2019 受賞者

# Responsibility

現場の安全構築のために 労働安全衛生管理体制

## 安全衛生マネジメントシステム

当社は2018年11月28日に建設業労働安全衛生マネジメントシステム(NEW COHMS)の認証を受けました。

2020年4月1日に安全衛生管理標準(第4版)の改訂版を発行し、事業活動に伴う労働災害、公衆災害、交通事故の防止と安全衛生水準の向上に努めています。

## 2020年安全目標

死亡災害 公衆災害 交通事故  
0 ゼロ 0 ゼロ 0 ゼロ

環境に配慮した 生産体制の推進 度数率 0.5以下(休業1日以上)

$$\text{度数率} = \frac{\text{休業1日以上の労働災害による死傷者数}}{\text{延べ労働時間}} \times 1,000,000$$

(小数点3位以下は四捨五入)

## 2020年度重点実施項目

### 1 重機・機械関連災害及び繰返し災害の防止

※重篤な災害及び繰返し事故を発生させる作業を特定し、対応措置を周知し作業に反映して事故を防止

- チェックリストの改定及び周知
- 事故・災害事例の水平展開

### 2 本・支社幹部による

#### 「事故災害撲滅運動」の推進

※工事・工場の繁忙期や危険作業の実施時期をおさえ、施工検討会・パトロールを実施

- 工事事務所長・工場長による教育指導とパトロールの強化
- 工事施工検討会による本社・支社・現場それぞれの目標の共有
- 重点現場・工場選定と本・支社幹部パトロール計画の作成・実施

### 3 安全衛生環境意識と管理能力向上

※作業に内在する危険を予知して日々の作業計画(資材搬入を含む)をしっかりと行い、計画を作業に反映できる人材の育成

- 協力会社事業主及び職長への教育推進(マイスター職長の専従率アップ)
- 工事打合書・安全指導書、機械等作業計画書・打合せ書による作業内容に即した具体的指示、指導の実施

### 4 協力会社の能力向上

※事業主及び職長へ当社ルールを周知し展開することにより、日々の作業で事故災害のリスクを軽減する

- 準会員協力会社に対する現場入場前教育の充実
- 声かけ運動・指差呼称推進
- 作業変更時ルール遵守の徹底
- 送り出し教育の徹底

## 5 危険作業、架空線、埋設物等近接作業時の確実な計画の立案とチェック及び幹部も含めた現場状況の確認による公衆災害の防止

- ※支社幹部を含めた全員で現場を確認し、それを計画に反映して危険の芽を事前に摘む
- 人力掘削による試掘確認徹底と磁気探査による埋設物調査の実施
- 吊作業及びローラー作業の範囲内に作業員が立入る場合の監視人の配置
- 架空物接触防止センサー等の安全補助装置の導入
- 計画作成時現場状況を踏まえた安全対策の立案
- 工事事務所長・工場長による先手管理工程表を使用した危険作業の管理

## 6 管理部門と一体になった、交通安全活動

- 事故原因の分析と防止対策案の水平展開
- テレマティクスデータによるリアルタイムな教育指導
- 優良運転者表彰制度の導入

## 7 作業環境の整備

- 現場での5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)の実施
- 作業環境を整備し、作業しやすい環境の構築
- 高温下での作業(熱中症)対策の立案と実施
- 管理部門と協力しての時短対策の立案及び実施

## 工事部門における重点管理項目

### 1 建設機械等の稼働に関連した災害の防止

- 安全補助装置の利用促進
- 誘導員又は見張り員の配置
- 作業員、ダンプ運転手に対する作業方法の周知

### 2 架空線等の損傷事故防止

- 事前確認及び周知・指導の徹底
- 目印表示等の設置と適切な誘導
- 接触防止センサーの導入推進

### 3 地下埋設物の損傷防止

- 磁気探査による事前確認、人力試掘の実施
- 目印表示などの設置、作業員への周知

### 4 安全意識向上のための教育の充実

- 安全衛生環境教育の充実
- 工事事務所等の週間工程会議の充実
- 作業員に対する安全教育の充実

### 5 健康障害の防止

- 休日取得の推進及び時間外労働の削減
- 特定業務従事者健康診断の受診
- 作業変更時のルールを徹底し、勝手な作業はさせない

## 建築部門における重点管理項目

### 1 墜落災害防止の撲滅

- 墜落防止用器具(フルハーネス型、胴ベルト型)着用及び使用の周知・指導の徹底
- 足場の検討会実施・点検の実施

### 2 建設機械等の稼働に関連した災害の防止

- 安全補助装置の利用促進
- 誘導員又は見張り員の配置
- 作業員、ダンプ運転手に対する作業方法の周知

### 3 地下埋設物の損傷

- 磁気探査による事前確認、人力試掘の実施
- 目印表示等の設置、作業員への周知

### 4 安全意識向上のための教育の充実

- 安全衛生環境教育の充実
- 工事事務所等の週間工程会議の充実
- 作業員に対する安全教育の充実

### 5 健康障害の防止

- 休日取得の推進及び時間外労働の削減
- 特定業務従事者健康診断の受診

## 製品事業部門における重点管理項目

### 1 工場機械災害の防止

- プラント機械動力可動部には安全カバー等の接触防止措置を徹底する
- 合材工場発生事故の再発防止のため、重点危険箇所の立入禁止措置を徹底する

### 2 重機および車両事故の防止

- 車両系建設機械に「接触防止センサー」の取付徹底と場内重機作業ルールの明確化によるダブルセーフティを実施する
- 重機・車両と人との接触事故を防止するため、場内歩行者通路を確保し明示する
- ダンプ荷台シート脱着時における転落事故防止対策について工場内・現場内で行う施策の実施を徹底する
- 顧客を含めた安全作業の啓発活動を実施する

### 3 本・支社幹部のパトロール強化

- 支社ごとに重点管理工場を指定し、重点的にパトロールを実施する
- パトロール時には、作業打合書・安全指導書と車両系建設機械・移動式クレーン等計画書を確認し安全管理状況を点検実施する

### 4 安全意識向上のための教育の実施

- 本・支社幹部は、社員及び協力会社職長へ安全衛生環境教育を実施し、管理能力の向上を図る
- プラント管理時の機械整備・点検・清掃メンテナンス等作業前の作業手順書作成と周知の徹底
- ダンプ運転手へ定期的に墜落防止作業手順について教育を行い、意識向上を図る

## 5 交通事故の防止

- 合材運搬車両等工事用車両の運行について事前に経路を明確に指示する
- 資材運搬車両等への工場内ルール及び現場内ルールを周知徹底し遵守させる

## 6 作業環境の整備

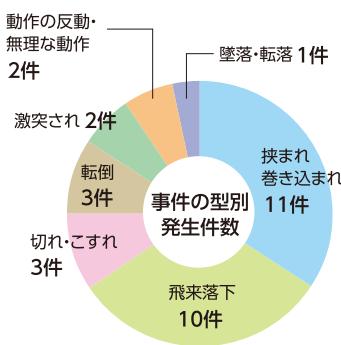
- 出退勤管理の徹底と4週6休以上の休日取得を推進し時間外労働を年720時間以内とする
- 試験室及び騒音振動粉塵発生場所の作業環境整備を図る

### 2019年の事故・災害発生状況 総括

#### 【労働災害】

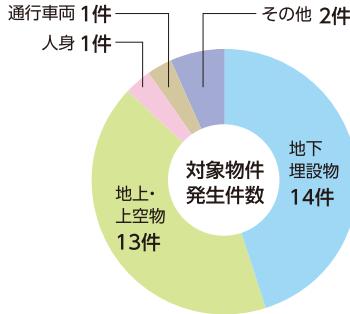
工事で発生した労働災害は30件、合材工場で発生した労働災害は2件でした。

全社で目標度数率=0.70以下を達成できました。10支社のうち1支社(関西)で目標度数率0.70以下を達成できませんでした。



#### 【公衆災害】

人身事故は1件でした。(前年0件、前々年1件) 物損事故は30件(前年24件、前々年6件)発生し前年より1.5倍増加しました。

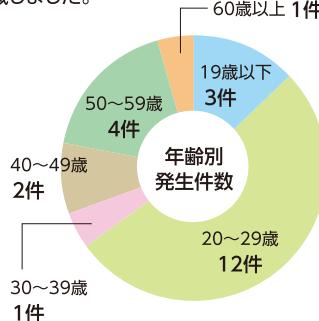


#### 【交通事故】

交通事故は27件でした。(前年24件、前々年12件)

交通事故件数は増加しました。20歳未満の事故が7件と多発し30歳未満までの発生件数は全体の70%を占めています。

テレマティクスの本格的導入後、9月30日を最後に10月・11月が0件、12月は2件と交通事故は激減しました。



## パトロールの実施

当社では以下のようなパトロールを実施して事故災害の撲滅に努めています。

### 社長パトロール

社長によって行われるパトロールです。



### 本社安全環境品質部によるパトロール

安全週間、年末年始、年度末に合わせて行われるパトロールを含め、本社安全環境品質部が隨時行う現場や工場のパトロールです。このパトロールでは安全、環境、品質の一元化の考えに基づき、安全だけではなく当社が認証取得している品質マネジメントシステム、環境マネジメントシステムの内部監査も兼ねた巡視を行っています。

### 支社、工事事務所によるパトロール

支社長をはじめとする支社幹部や工事事務所長によってパトロール計画に則り定期的に行われる安全パトロールです。

### 事業主パトロール

協力会社の事業主によって毎月2回以上行われる安全パトロールです。



## 協力会社との係わり

### 職長教育について

建設業の扱い手不足は業界が抱えている問題です。

当社は正会員協力会社施工部会に所属する職長を対象とし、施工管理能力と積算能力、生産性・利益向上を目的として、全国で職長の教育を実施しています。



### マイスター制度について

当社の施工現場において労働災害防止と品質のさらなる向上を図ることは、喫緊の課題であり、協力会社の優秀な職長を確保することは必要不可欠です。

「大成ロテックマイスター職長制度」は、優秀な職長を当社の施工現場に確保すると共に技術・技能を継承するために優良技能者報酬制度として2016年に定めたものです。

### マイスター職長の認定条件

**1 安全衛生環境協力会正会員の協力会社に所属し、当該会社に5年以上勤務している「現場施工に直接かかわる職長」で災害防止活動、職長会活動、職場(現場)環境改善、品質の向上・確保に積極的に協力し作業指揮等の能力が高く、実績・貢献度などが総合的に優秀な者。**

#### 2 認定基準

- 協力会社の正会員の社員で該当会社に5年以上勤務している者。
- 工事部主催の「職長への教育」を1回以上受講し成績が優秀な者。
- 職長・安責者教育終了後、5年以上現場に携わった者。
- 能力向上教育修了者。
- 新CFT又は、RST資格保持者であり協力会社に職長教育が実施できる者。
- 特別教育インストラクター資格取得に意欲がある者。
- 認定時に、新CFT又はRST資格を保有していないが、認定後1年内に新CFT又はRST資格を取得できる者。

#### 3 スーパーマイスター

マイスター職長として3年間以上施工現場に従事し、直近3年間の平均就労日数が年間100日以上で本人及び指揮下の作業員が無事故・無災害であり実績・貢献度などが特に優秀な者。

※以下のいずれかに該当する場合は、認定から除外する。

- (1)68歳に到達した者。
- (2)過去1年間に当社施工現場にて重大な公衆災害並びに休業4日以上の労働災害を発生させた協力会社に所属する者。(重大な公衆災害については、事故発生後当社が判断する。)



マイスター職長に認定された方のヘルメットに貼るステッカー

# Environment

より快適な地球の未来のために 環境活動報告

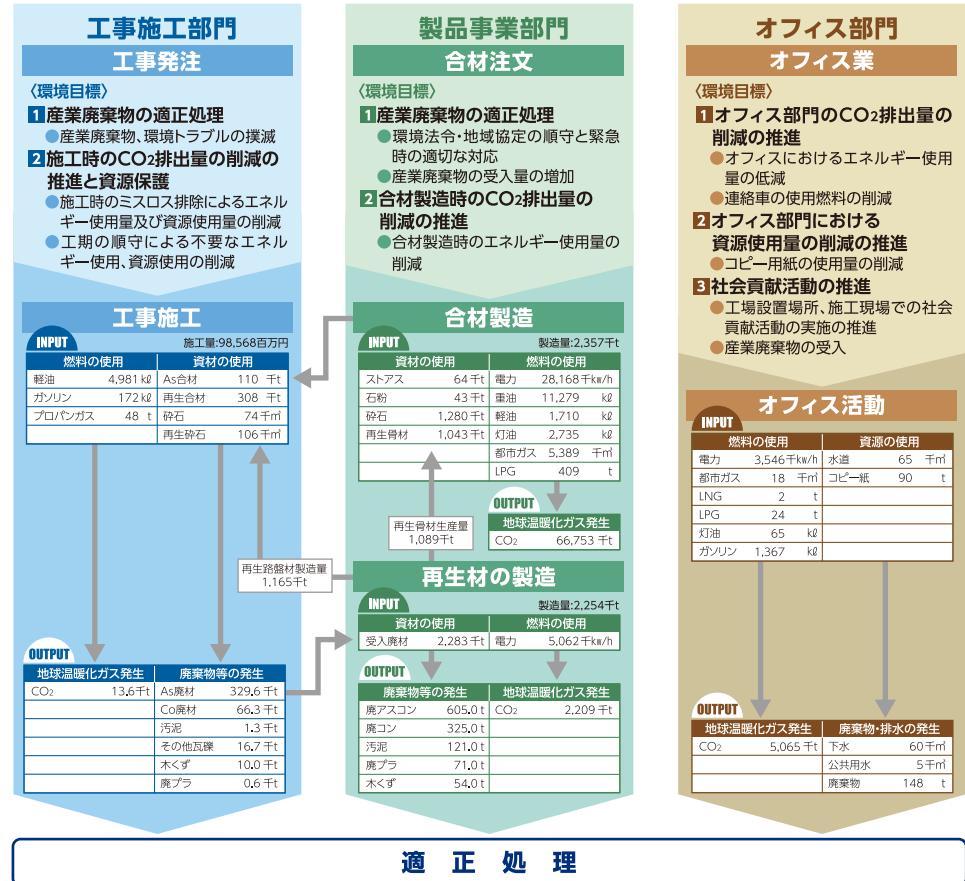
次世代に豊かな地球環境を継承することは、私たちの責務です。

## 環境負荷物質の排出と削減状況

大成ロテックは、道路などの施工や合材製造、営業活動、技術開発・研究活動、オフィス活動その他の日常業務を通じて、右図のような環境負荷物質を排出しています。そして、舗装工事現場から排出されるアスファルト、コンクリートの廃材などを再生する中間処理プラントの活用により、産業廃棄物最終処分量の削減に貢献しています。



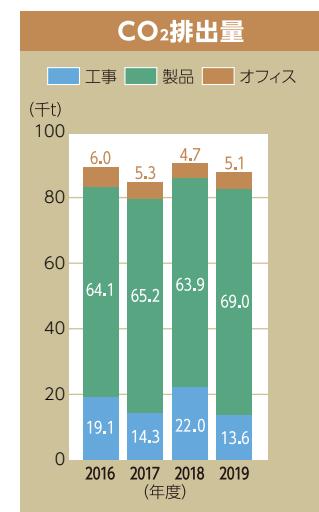
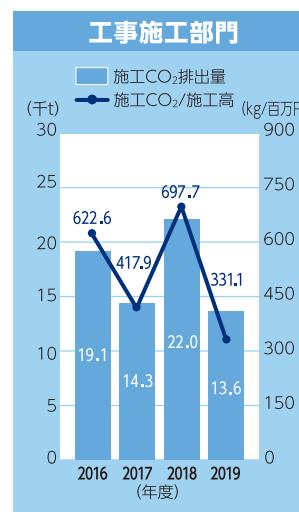
城南島リサイクルセンター  
主にコンクリート廃材の中間処理を行なっています。



## CO<sub>2</sub>排出量削減への取り組み

工事施工部門では大型工事の効率的な施工により燃費が改善したことから、原単位当たりのCO<sub>2</sub>排出量を低減することができました。しかし、製品事業部門では合材の多種化により、原単位で微増という結果になりました。

全社としてのCO<sub>2</sub>排出量は上記の結果から、ほぼ横ばいで推移しています。今後はさらに、環境に配慮した効率的な施工及び製品製造を実施し、地球温暖化防止のためにCO<sub>2</sub>排出削減に取り組んでいきます。



# 工事実績 | 2019年度

大成ロテックでは、全国各地でさまざまな事業活動を展開しています。

2019年度に携わった代表的なプロジェクトをご紹介します。

## 2019.06 357号東京港トンネル(山側)臨海地区舗装工事

発注者 国土交通省 関東地方整備局 竣工日 2019年6月28日

東京港トンネルは国道357号線の都内唯一の未整備区間で、東京臨海部の移動性の向上と空港・港湾拠点とのアクセス向上を期待されおり、かねてより開通が待たれていました。当社は、東京港トンネル臨海地区の延長2kmの舗装工事を行いました。開通後は並行する幹線道路の交通量の減少、羽田空港から臨海地区の所要時間の短縮などの効果が得られており、東京オリンピック時の物流ルートにも期待されています。



### 工事概要

道路土工	10,000m <sup>3</sup>	自立式道路鋼矢板擁壁工	200m
コンクリート舗装工	4,800m <sup>3</sup>	高圧噴射搅拌工	190本
アスファルト舗装工	6,300m <sup>3</sup>	中層混合処理工	2,500m <sup>3</sup>

### 工事担当者の声



現場代理人  
高橋 克典

本工事は、工区内において湧水が確認されたことによる大幅な仕様変更(止水対策工事の追加)、隣接関連工事の影響、早期開通の期待など多くの困難を抱えた難工事でした。そのような状況の中、本・支社と密に連携し大成グループの協力のもと、チームとして立ち向い一つ一つ困難を解決してきました。特に工程調整は難しく昼夜による作業になりましたが、無事故・無災害で完成できました。そして、多くの方々のご尽力のおかげで発注者からも高い評価をいただくことができました。

## 2019.07 那覇空港GSE置場新設外2件工事

発注者 沖縄総合事務局 開発建設部 竣工日 2019年7月31日

那覇空港では国際航空需要の増加に伴う施設の狭隘化・老朽化に対応するため、国際線ターミナル地域再編整備を2009年度より実施しており、本工事は再編に伴うGSE置場及びエプロンの新設と構内道路の拡張工事です。



### 工事概要

空港土工	54,000m <sup>3</sup>	コンクリート舗装工	3,700m <sup>3</sup>
アスファルト舗装工	12,600m <sup>3</sup>	歩道ルーフ工	56m

### 工事担当者の声



現場代理人  
大塚 健二

本工事の岩掘削箇所の一部に押所があり、またその箇所は現道に面した場所にあったため、掘削方法や安全対策を協議し、また「ユタ」とも呼ばれる靈媒師に何度もおはらいをしてもらい、無事に掘削を終えることができました。発注者やCABより施工箇所の追加要望が多くありました。しかし、関係機関と調整しながら実現していき、各引渡し期限を守れたことが発注者からの高評価につながりました。

## 2020.02 東京国際空港A滑走路高速脱出誘導路他舗装工事

発注者 国土交通省 関東地方整備局 竣工日 2020年2月20日

東京国際空港(羽田空港)では2020年に開催予定だった東京オリンピックに向け、国際線の発着枠を約3.9万回増枠させるための航空保安施設、誘導路などの施設整備が必要とされます。この工事では7箇所の誘導路を増設しました。



### 工事概要

土工	86,000m <sup>3</sup>	高強度PRC版舗装工	700m <sup>3</sup>
路床改良	52,000m <sup>3</sup>	航空保安施設工	24,400m <sup>3</sup>
アスファルト舗装工	145,000m <sup>3</sup>	アクリル樹脂塗装工	31,500m <sup>3</sup>

### 工事担当者の声



現場代理人  
池本 英二

施工箇所が大きく7か所に分かれ、曜日により夜間閉鎖箇所や閉鎖時間が異なるため、職員と作業員に作業内容や注意事項の確認と周知を必ず実施していました。空港が運用されている中での施工となるため、常に航空機最優先を考え、空港運用に支障を与えないよう細心の注意を払うことが求められました。2年を超える長い施工期間でしたが、無事故・無災害で竣工し、発注者から高評価をいただくことができました。



#### 【表紙解説】

Future(未来)、Environment(環境)、Technology(技術)で構成されたトライアングルをモチーフにしたデザインです。その3つの要素により実現するサステナブルな社会を表現しました。

当社の活動は、インターネットのホームページでも公開しています。

<https://www.taiseirotec.co.jp/>



本報告書は、環境に配慮した印刷工程と印刷資材を採用しています。再生可能資源で環境負荷を大幅に低減する植物油含有の印刷インキと、適切に管理された森林からの原料を含む「FSC®認証紙」を使用しています。